

れんごう中越地協

第724号2011.9.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



連合新潟「平和行動 in 長崎」

平和を求め若者の元気さに感心

核兵器廃絶平和ナガサキ大会、平和公園・原爆投下地点見学

連合新潟「平和行動 in 長崎」が、8月7日(日)から9日(火)に取り組み、連合中越から金内副議長とJP労組中越支部の石黒さんが参加した。金内副議長から行動と感想を述べてもらった。

新潟からは5人での代表参加でした。一日目のお昼に、名物長崎ちゃんぽんを食べての行動開始です。最初は「核兵器廃絶

平和ナガサキ大会」で、平和公園、原爆投下地点など、核兵器廃絶の重要性を痛感しました。ここでは、10年間、パソコンに平和へのメッセージが残り、決意表明などがある。新潟のメンバー全員が思い思いの言葉を書き記してきました。他の方々は何を書いたのか気になるところです。



和大使ということで、ジュネーブの国連欧州本部へ行って署名を手渡して行くなどの活動紹介、決意表明などが行われ、平和を求め若者の元気さに感心しました。2日目は、連合長崎のユース、女性による平和公園、原爆投下地

点などのモニタリング等のガイド説明があり、練習不足なのかどぎまぎした説明もありましたが、平和に対する若者教育の推進努力がされていることを感じました。また、被爆者でもある平和案内人の方から原爆資料館を案内してもらいました。が、あらためて戦争の惨さ、戦争をする人間の愚かさに、平和を守

9月の声を聞きすっきり秋の涼しさを感じるようになり、今年も夏は節電と猛暑で、多くの皆さんが大変苦勞をされたことと思います。我が家でも、この夏はできる限りクーラーは使用せずに扇風機で乗り切ること家族で実践しました。皆さんのご家庭ではどうでしたか?あまり我慢しすぎて、熱中症や夏バテで体調を崩した人も多いのではないのでしょうか。少し体調管理をして、これからの味覚の秋、収穫の秋を満喫したいものです。さらさら季節はどんどん寒さを増して行き、雪の季節へ向

副議長 小川正巳

東蔵王2 (No.53)

かいます。暑い夏の後には大雪を降らせることが多いかなと考えます。今年も余程の大雪が心配されます。東日本大震災から間もなく6か月になるうとしていますが、被災地も雪の季節に向かい、夏とは違う苦勞が待ち受けています。民主党は新たな総裁を決定して、新首相が誕生することと思いますが、今なお不安を抱えて生活をされている被災者の皆さんの1日も早い生活の安心を早急に実現していただきたいと思いをもちます。政治は、冬の時代から春の時代へ向かうことを期待して願うばかりです。

最終日の記念式典は、会場の広さの関係で遠くからしか見ることができませんでしたが、3日間を通して、5人のチームワークもよ

連合中越地協 公契約学習会で連合の考えと課題を学ぶ

連合中越は、8月25日(木)18時30分から「公契約学習会」を開いた。講師には、連合新潟



渡辺副事務局長(連合新潟公契約推進委員会事務局長)を迎え、地協幹事、連合新潟推薦地方議員等30名が受講した。講師からは、公契約とは何かやその現状と問題点、野田市や川崎市での公契約条例制定、連合の考え方や今までの取り組みなどが説明された。現行法との位置関係、建設建築関係における事項

く、平和行動、観光も含め、長崎をいろいろ知ることができてよかったです。(国民市民活動担当 金内副議長)

連合中越 第25回幹事会を開催

連合中越は第25回幹事会を8月25日(木)公契約学習会後に開催した。報告事項で

地域循環ネットワークによる回復プロジェクトを取り組んでいる。藻場の減る要因の一つと考えられる鉄分を使い捨てカイロが放出する鉄イオンで補うもの。栗島だけでなく、川から鉄イオンを放出する取り組みが広がってほしいと結んだ。第2部は、杉本幹夫無産研究所代表が「二価鉄イオンが地球

「栗島からの実施報告」があった。講師からは、昔は藻で下が見えなかったが、今は磯焼けが激しくアワビ・サザエも激減した。藻場の再生を図ろうと、海洋緑化を広めようとして無産研究所に相談し、使い捨てカイロを使った鉄炭だんご

を救う」と題して講演。山に木を植えることは森からの鉄分補給で大切だが海の恋人になるまでには百年かかる。使用済カイロの鉄炭だんごの中心部は未酸化鉄があり、水と反応して二価鉄が出て栄養となつて藻が生える等と述べた。会場からも多くの質問が寄せられ、有意義な講演会であった。



サラリーマン川柳(胸はずむ 人には言えない パスワード) (静かです みんなメールと話してる) (顔も見ず 気配で過す 古夫婦) (午後にやる 御前会議の あん眠気)

サラリーマン川柳 (指示待ちはダメだと上は指示を出し) (ストレスを飛ばすつもりが二日酔) (やせたねエーその一言が平和呼ぶ) (賞味期限切れであわてて賞味する)

NIIGATA WORKERS EKIDEN

第21回新潟県勤労者駅伝大会要項



- 期日** 2011年9月17日(土) **雨天決行**
- 場所** 東北電力ビッグスワンスタジアム
新潟県スポーツ公園内コース
- 種目** 24.4km 6人リレー

連合新潟・新潟県労福協

アルビレックス新潟 試合観戦 無料招待のご案内

J.LEAGUE DIVISION1 第28節

10月1日(土) 午後15:00 試合開始



アルビレックス新潟

VS



横浜F・マリノス

9月16日までは申込み可

会場：東北電力ビッグスワンスタジアム

＜お申込み方法＞

下記欄に全項記載して連合中越 fax 0258-24-8930 へ申込む。先着順のため、チケット残券の有無を連合中越が申込者にfaxで返答する。その際、チケットの渡し方(郵送か取りに来る)について個別に調整。

申込みは組合単位でも組合員個人でもOK。

組合名	申込担当者名
連絡先住所 〒	
連絡先電話	連絡先fax
チケット希望枚数	枚 (30枚まで可)
渡し方(何れかに○囲み) 郵送希望 ・ 事務局に取りに来る	
※電話での申し込みは受けません。またチケット残数の有無についてのFAX返答は数日掛かることがあります。	

心と身体を守るセルフケア

お気軽にご相談ください。あなたは「1人」ではありません。世の中には様々な悩みを持っている人が沢山います。あなたと同じ悩みを抱えている人もきっといるはず...

毎月2回、ながおかライフサポートセンターでは「心と身体を守るセルフケア」を開催いたします。毎回、開催日には専門カウンセラーが配置されます。悩みを抱えた者同士、交流してみませんか？

- ★悩みを抱えた者同士でおしゃべりしたい
- ★カウンセラーに悩みを聞いて欲しい
- ★社会復帰のステップにしたい 等

こんな悩みありませんか？

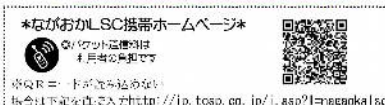
- 周囲の輪に馴染めない
- 人とコミュニケーションを取るのが苦手
- 自分の「居場所」がない
- 心に悩みがある
- 家族へも相談出来ずに、1人で悩んでいる
- 面接で何回も不採用になり落ち込んでいる

開催日

- 毎月第2・第4【木曜日】
- 11:00~15:00 (この時間帯であれば何時に来て、何時に帰ってもOK)
- 長岡市勤労会館2F フリールーム
- 参加費 無料
- 毎回、専門カウンセラーが配置されます

セルフケア参加者限定

第2・第4【金曜日】には個人カウンセリングを行います。「心と身体を守るセルフケア」に参加された際、申込みカウンセラーと日程調整ください。



※ながおかLSC携帯ホームページ

ご利用の場合は、下記へなるべく事前連絡をお願い致します

ながおかライフサポートセンター
長岡市東蔵王2-2-68 勤労会館2階

電話 (0258) 24-0535

受付時間/平日9:00~16:30

⇒⇒メールでの相談も受付中 (鑑定金がかかります。問い合わせ先アドレスを登録ください) アドレス nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

※生活相談・労働相談等を受けている「ながおかライフサポートセンター」が運営しています (ツラ面参照) ながおかLSC 2011.5.16



労働・生活何でも相談 ながおかライフサポートセンター

ひとりで悩まず、気軽に利用できる

ながおかライフサポートセンターは、労働相談・金融問題・法律問題・宅建相談など、様々な「生活」に関わる相談を受け付けています。同センターでは弁護士・金融機関・社会保険労務士・カウンセラーといった資格を有する方々と提携しながら「解決の糸口を見つけ出すサポート」を目的とし、2008年2月1日に開所しました。

Q.「ながおかライフサポートセンター」は誰が運営しているの？

A. 「ライフサポートセンター」は、県内の11カ所に設立されて活動を開始しています。働く者の福祉活動を支援している新潟県労働者福祉協議会(県労福協)に委託される浄財が、各地域のライフサポートセンターに交付されます。県労福協には、働く者の福祉を推進する連合新潟、労働金庫、総合生協、高齢者協議会などが参加しています。また、公的資金導入への働きかけ、NPO団体からの運動的支援等「協働の場」となっています。ライフサポートセンターは、根拠のない市民参加が前提の活動ですから、あなたも交えた【みんなが参加・参画して運営されているセンター】です。

Q.利用は有料？ 無料？

A. 解決の糸口を「一緒に見つけ出す」として見つかるときの「居場所」である限りは無料です。事業の経験者や行政の力・アドバイスを借りる場合も、ほとんど無料です。しかしながら、問題の具体的解決に当たり、専門資格を有する弁護士・税理士・社会労務士・各種カウンセラーの業務など無資格者では対応できない事業で、専門家から「訴訟等具体的対応」を行使する場合は、事実上有料となります。その場合、ライフサポートセンターの職員に賛同された方々を紹介いたします。また、秘密厳守ですので、安心して相談ください。

Q.どんなシステムで「糸口」は見つかるの？

A. まず、ながおかライフサポートセンターへ電話を掛けることが第一です。相談内容によって対応は様々。一緒に解決の「糸口」を見つけましょう。



基本的には「事前電話」でアポイントを取られてからの来局をお願いします。突然来局された場合ですと、外出や交渉活動の為に空足となりますのでご注意ください。

ひとりで悩まず、お電話ください

ながおかLSC (0258) 24-0535

- ◎開所日...加賀片碓口~全開所 (土・祝日は休み)
- ◎時 間...9:00~16:30

見附事務所 (0258) 63-1797

- ◎時 間...10:00~16:00